

令和5年度

ダスキン健康保険組合 事業所別 健康白書

ダスキン健康保険組合では、事業所の働きさんの健康推進と各種取り組みの成果を数値的に分析し、目標の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果の確認として、令和5年度の「健康白書」を作成いたしました。その結果を基に今後取り組むべき課題についての報告と共有を図ります。

被保険者数

6,284人 令和5年度(2023年4月1日～2024年3月31日)を通じて在籍した被保険者数を対象として集計しています。

▶ 各社の被保険者(働きさん)の状況

(株)ダスキン

1人当たり医療費は健保平均より低いが、65歳以上1人当たり医療費は健保平均より高い。生活習慣病リスク有所見率や生活習慣病発症率、重症化・合併症発症率が高い状態が続いており、適切な食事習慣のある方・運動習慣のある方・飲酒習慣が適切な方の割合が低い。

(株)ダスキン
ヘルスケア

1人当たり医療費が事業所全体のワースト5に入る。ただし65歳以上1人当たり医療費は前年より減少しており健保平均より低い。生活習慣病発症率、重症化・合併症発症率は高く、医療機関未受診や治療中断などによる重症化を予防するために、自社の保健師による受診勧奨を実施中である。

サーヴ関係会社

1人当たり医療費は10社中7社が前年度より減少している一方で、3社が事業所全体のワースト5に入る。また、65歳以上1人当たり医療費の増加がみられる事業所がある。肥満率に関しては4社がワースト5に該当。生活習慣改善プログラム(特定保健指導)の申込率が2年連続0%の事業所1社については参加への取り組みが必要。喫煙率が健保平均より5%以上高い6社については禁煙の取り組みが必要。

プロダクト関係会社

運動習慣のある方の割合が低く、生活習慣病発症率も高くなっている。生活習慣改善プログラム(特定保健指導)の申込率0%の事業所が3社あり、うち2社は2年連続申込率が0%。(逆に申込率100%の事業所も1社)
がん検診受診率が低いので提携医療機関での受診もしくは部位検診の受診促進が必要。睡眠で十分な休養が取れている方の割合も低い。

フード関係会社

1人当たり医療費は健保全体よりも低いが、生活習慣については改善していく必要がある。運動習慣のある方・適切な食事習慣がある方の割合が低く、喫煙率が40%を超える事業所がある。
kencom登録率が20%前後と健保全体の42.9%を大きく下回る会社が2社ある。

▶ ダスキン健保全体の状況 前年度との比較

改善
したこと

- ファミリー健診受診率は67.3%と前年度より増加(前年度63.0%)。
- 生活習慣病有所見率17.8%とわずかに減少(前年度19.5%)。
- 喫煙率24.1%(前年度24.6%)。健保全体としては着実に減少も、事業所によっては40%を超える事業所も見られる。
- 健康増進活動(肥満率・適切な食事習慣のある方の割合・運動習慣のある方の割合)は前年より全体的に改善傾向。

悪化
したこと

- 被保険者1人当たり医療費、65歳以上1人当たり医療費ともに増加傾向で過去最大。
- 生活習慣改善プログラムの特定保健指導申込率は34.3%で、前年度38.0%より減少。(申込率0%の事業所が4社)
- 生活習慣病発症率30.7%(前年度30.4%)、重症化・合併症発症率7.9%(前年度7.1%)、いずれも前年度より微増。
- 健康診断の有所見状況は39.3%で、前年度33.2%より増加。